

# 奈良県の労働市場の動き（令和元年11月分）

・有効求人倍率（季節調整値）は、1.41倍で、前月より0.01ポイント下回りました。

・全国は1.57倍で、奈良県は0.16ポイント下回りました。

・近畿ブロックは1.57倍で、奈良県は0.16ポイント下回りました。

・有効求人数（季節調整値）は、24,422人、前月より0.8%の減少となり5ヶ月連続の減少となりました。

・有効求職者数（季節調整値）は、17,292人、前月より0.1%減となり8ヶ月ぶりの減少となりました。

・新規求人倍率（季節調整値）は2.38倍でした。

前月より0.34ポイント上回りました。

・新規求人数（季節調整値）は、8,936人、前月より6.0%の増加となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「宿泊業、飲食サービス業」、「医療福祉」において増加し、「運輸業、郵便業」においては同水準となり、「建設業」、「製造業」、「卸売業、小売業」、「サービス業(他に分類されないもの)」で減少しました。

建設業(前年同月比0.8%減)、  
製造業(同4.6%減)、  
運輸業、郵便業(同0.0%同水準)、  
卸売業、小売業(同17.5%減)、  
宿泊業、飲食サービス業(同32.2%増)、  
医療、福祉(同3.1%増)、  
サービス業(他に分類されないもの)(同2.9%減)

・新規求人数（原数値）8,695人のうちパート求人は4,301人でした。パート求人比率は49.5%でした。

・新規求職者（季節調整値）は、3,751人で前月より9.2%の減少となりました。

・雇用保険受給資格決定件数は972件でした。

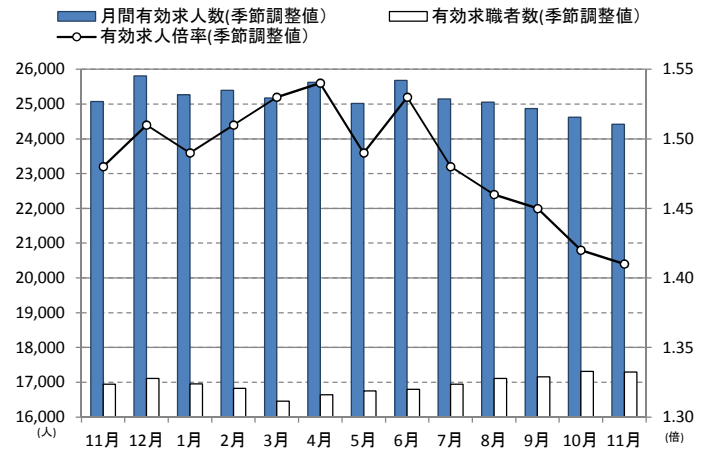
前年同月比で5.5%の増加となりました。

・雇用保険受給者実人員は3,701人でした。

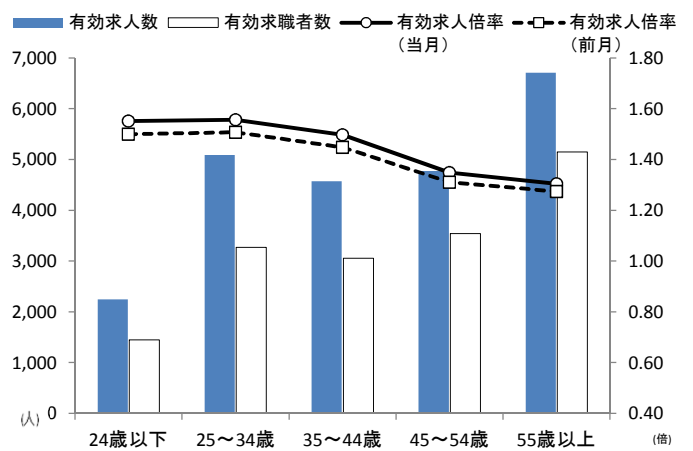
前年同月比で1.0%の減少となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成30年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

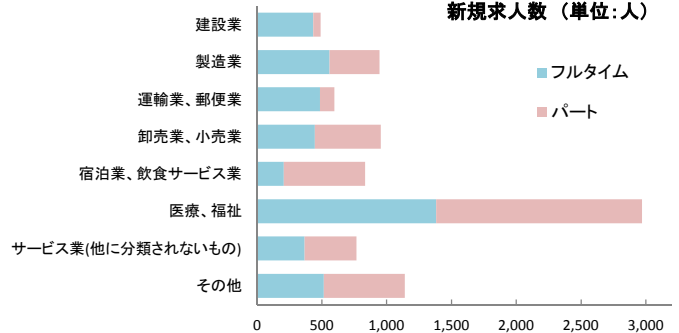
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)



新規求人数(単位:人)



新規求人の産業別割合

